



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>



令和7年度 第7号

校長 猪又 雅広

令和7年 11月4日

## 令和7年度全国学力・学習状況調査結果

この調査は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、文部科学省が小学校6年生、中学校3年生を対象に毎年行っています。今年度は令和7年4月14日(月)～17日(木)に国語、数学、理科を行いました。本校の結果が出ましたので主な点を報告させていただきます。

### 〈教科に関する調査：ペーパーテスト〉

- 国語：全ての事項で全国・千葉県平均を上回る。自分の言葉で書くことが課題。
- 数学：全ての事項で全国・千葉県平均を上回る。文章題を数式にすることに課題。
- 理科：ほとんどの事項で全国・千葉県平均を上回る。それぞれの知識を総合的に判断する力に課題。

### 〈生徒質問調査〉

- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問、高い数値、自己肯定感が高い。
- 「人の役にたつ人間になりたいと思いますか」という質問、94%がそう思っていると回答
- 「友人関係に満足していますか」という質問、93%が満足と回答
- 「人が困っているときは、進んで助けますか」という質問、低い数値、共感性や他者への関心等に課題。
- ICT 活用の学習状況、前年度、前々年度全国平均を下回る。今年度全国平均を上回る。
- 「読書を平日1日当たりどのくらいしますか」という質問、30分以下26%、全くしない49%、読書に課題。

学校として今回の結果を全教職員で共有して、成果と課題を今後の学校教育の改善のために生かしていきます。

## ～読書のススメ～

令和7年度全国学力・学習状況調査の読書に関するアンケートの結果を踏まえ、なぜ読書が必要か考えてみました。

世の中の現状はインターネットの発達により、情報をスマートフォンやタブレットを使って必要な情報をとっている人が増えたことが読者離れに影響していると思います。

これからの時代はAIやインターネット、本のそれぞれ長所を使う本人が理解して、用途に応じて最も適切なものを選択することが大切です。

そこで読書によって身につく力についてたくさんあると思いますが、「集中力」と「バランス感覚」について紹介します。

皆さんには時間が経つのを忘れたり、人の話が耳に入らないほど夢中になって本を読んだ経験はありませんか？読書を楽しむことが集中力の鍛錬になっています。受験勉強では限られた時間で一定量の知識を習得しなければなりません。その時に読書で培った集中力が生きてきます。

バランス感覚は世の中全体の物と自分の距離感を適切に保てる感覚です。これまでは子どもの

頃に友達同士の遊びの中で思い切り転ぶ経験やけんかしたりして転んだ時にとっさにケガをしないように自分と地面の距離を感じて、手を出すことや、友達とこれ以上はやったら、相手を傷つけるという感覚を習得して来ました。

しかし、近年は友達と外で体を動かして遊ぶ経験が減少してバランス感覚を身に付ける機会が減っています。読書は他人が経験したことや調べた知識の獲得ができます。それにより自分の世界観が広がり様々な視点で物事や他の人を見ることができるようになります。多様な視点を持つことはバランス感覚を磨くことにつながり、人格的な包容力や寛容の基礎となります。

そこで今回は私が読書に目覚めた本と校長をする上で最近参考にしている本を紹介します。

### 〈読書に目覚めた本の紹介〉

右側「真田太平記」池波正太郎 右側「世に棲む日々」司馬遼太郎

この本を読んで戦国時代に触れた事で、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に興味を持つようになりました。

その流れで司馬遼太郎と出会い、左側「世に棲む日々」に出会いました。この頃は古本屋で司馬遼太郎の本を買い集め時間を忘れて読んでいました。

この時期にもっと中学校時代、史を真剣に学んでおけばよかったと後悔しています。この後に徳川慶喜に興味を持ち、大政奉還という時代を変える責任感のある決断をどういう心境でしたかという興味を持ち関係の本を読みました。



### 〈最近参考にしている本〉

右側「PLAY LIFE PLAY SPORT」辻秀一

スポーツドクターの著者がスポーツの価値について東京オリンピックが始まる前に書いたものです。部活動地域展開について考える際に参考にさせてもらいました。



左側「THE CAPTAINSHIP」岡田武史・工藤勇一

元サッカー全日本監督、岡田さんと元麹町中学校校長の工藤先生が書いた本です。岡田監督がワールドカップの経験を通して主体性を育てないといけないという考えのもと、現在今治で学校経営に取り組んでいる話を紹介しています。一中の生徒主体の学校経営のヒントを頂きました。工藤先生については生徒向けの本も出版しています。本校の図書館にも買ってもらって置いています。是非生徒の皆さんにも読んでほしいです。

**お知らせ：学校ホームページに学校生活の様子、給食献立、必要な連絡等を掲載していきます。日々更新していきますので、是非ご覧ください。**

